

山城愛



1_甲冑を身にまとい、気分は戦国武将
 2_伊達政宗が「いざ出陣」と雄たけびを上げる
 3_忍城おもてなし甲冑隊が忍伝説を紙芝居で披露
 4_片倉家に伝わる火縄銃演武
 5_歴史案内人が城の魅力がPR
 6_山城にほら貝の音色が響く
 7_大川さんが力強い演奏を視聴者に届ける
 8_桃ゼリーに太鼓判
 9_迫力ある武将隊のステージ
 10_半田醸芳小の祇園ばやし演奏
 11_無事大会が閉幕し、安堵の表情を見せる参加者

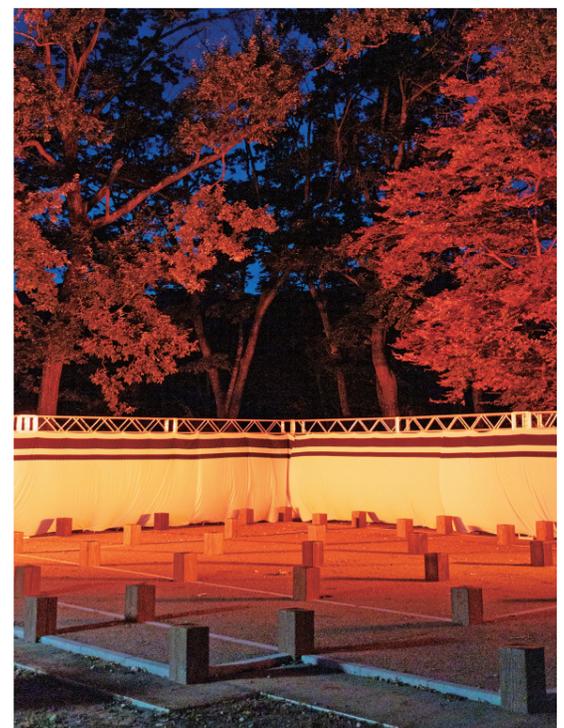
ため、動画投稿サイト「ユーチューブ」によるオンライン配信に切り替えて実施。桑折西山城の魅力や、ライブ映像を通じて、全世界へ広く発信しました。

ライブ収録のメイン会場となった町民体育館では、テレビ番組「笑点」でおなじみの落語家・春風亭昇太さんと、3年連続の登壇となる城郭研究の第一人者・千田嘉博さんが歴史トークを繰り広げました。また、伊達政宗一行に扮した伊達武将隊をはじめ、やまがた愛の武将隊、忍城おもてなし甲冑隊から人気3武将隊が、迫力満点の演武を披露。本県出身の箏奏者・大川義秋さんが、視聴者の心に寄り添うやさしい音色を奏で、ステージに花を添えました。中継先の桑折西山城跡では、桑折西山城の支城だった、宮城県白石城を拠点に活動する伊達家臣の片倉鉄砲隊がコロナの収束を願い、火縄銃演武を披露。また、半田醸芳小学校の児童が「半田銀山祇園ばやし」を心ひとつに演奏し、町歴史案内人は「コロナが収束したら、ぜひ町へお越しください」と笑顔で呼び掛け、大会を盛り上げました。

伊達氏の礎ここにあり 桑折西山城から世界へ

戦国時代、東北最大の大名・伊達氏の本拠地であった、国指定史跡「桑折西山城跡」。「独眼竜」伊達政宗の曾祖父、14代・積宗が政治を治めた歴史的舞台で、10月30日、31日、「全国山城サミット桑折大会」が開催されました。

当初は、全国各地の歴史ファンが現地に来る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の



▲大会時に本丸をライトアップ。幻想的な雰囲気を出



▲町民体育館や桑折西山城跡からライブ配信。役場やイコーゼを開放し、パブリックビューイングで感動を分かち合う



▲大会を記念して作った御城印も大好評